

# CURRENT SITUATION

## バグダッド日誌(3月25日)

### ○米陸軍はすごい??

23日にインターナショナル・ゾーン(キャンプ・ヴィクトリーから約15km東にある多国籍軍司令部の一部)で調整を終え、キャンプ・ヴィクトリーに戻るためヘリパッドで待っていたところ、ヘリの故障のため10時間待たされてしまった。

この間、[REDACTED]はヘリの待合室で各軍の装備研究に余念がない。オーストラリア軍のガード・フォースが機関銃と拳銃のダブル装備をしており、機関銃にはシュア・ファイアー(スペシャル・フォース御用達のライト)が装着されていた。オーストラリアのガードは、エアボーン出身でCQB(Close Quarter Battle:建物内の掃討)教育も受けているとのことであり、興味のあることは英語ができなくてもコミュニケーションとして情報を入手していた。

ヘリの修理に時間を要し10時間も待たされたため、待っている米陸軍の4人のパーティが「キレ」てしまい大の字になって地面の上に寝はじめた。海兵隊はさすがにトレーニングされており、国連職員等のノン・ミリタリーの方に席を譲り、その後も立ったまま本を読んでいた。豪軍は、ガードを担当していた2人は機関銃をもったまま、アーマーも脱がず涼しい顔で待っている。この光景を見ながら、米陸軍は人が多いため中にはあまり訓練されていないのもいるのかと感じたが、海上自衛隊の[REDACTED]の感想は違っていた。「米陸軍はすごいですね。どこでも寝れるんですね。」であった。確かに「視点が変われば、そうなのか?」とも感じた。

(野崎)

### ○夏の訪れ

最近のバグダッドの気候は日中は30℃近くまで気温が上がるが、乾燥しているため心地よい。バグダッドに到着したばかりの頃は5時半にはもう真っ暗であったが、日も長くなってきており6時半頃まで明るくなっている。

燕が一羽矢のようにパレス(多国籍軍司令部)の方に飛んでいくのを見送り、もうすぐ夏が近いと感じている。雨季が終わり、いよいよ夏になる。今年の雨季は雨が少なかったようだ。砂嵐そして灼熱の夏の訪れはもうすぐである。